



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月7日

上場会社名 日本カーボン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5302 URL <http://www.carbon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 尚史
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務統括部長 (氏名) 今井 浩二 TEL 03(6891)3730
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	33,033	70.7	10,285	648.7	10,284	612.2	6,560	559.3
29年12月期第3四半期	19,351	17.3	1,373	—	1,444	—	995	—

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 6,631百万円 (443.4%) 29年12月期第3四半期 1,220百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	594.05	—
29年12月期第3四半期	89.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第3四半期	67,664	39,184	49.1	3,007.65
29年12月期	57,656	33,906	48.9	2,553.20

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 33,216百万円 29年12月期 28,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	—	—	50.00	50.00
30年12月期	—	50.00	—	—	—
30年12月期（予想）	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,200	61.6	13,000	406.0	13,000	333.8	8,500	187.1	769.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規一社、除外一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期3Q	11,832,504株	29年12月期	11,832,504株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	788,635株	29年12月期	788,847株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期3Q	11,043,869株	29年12月期3Q	11,067,416株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当連結会計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、度重なる自然災害の影響による生産活動の弱含みは見られたものの、個人消費や設備投資は回復がみられ、景気は緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、米国の経済政策や米中貿易摩擦の動向等、先行きは不透明な状況となっております。

また、世界経済は、米国では、製造業の良好な業況を背景に、個人消費、設備投資も堅調に推移し、雇用情勢も改善傾向となりました。欧州では、景気は拡大傾向にあるものの、国際的な保護主義の台頭が今後の経済情勢に影を落としております。中国では景気の減速傾向が続き、米国により実施された追加関税等の影響が今後の懸念となっております。

このような状況の中、当社グループの主要関連産業であります鉄鋼産業は、一部で北海道地震による生産停止等の影響はあったものの、堅調に推移し、半導体関連産業も好調に推移しております。

こうした事業環境を背景に当社グループは、米国、欧州での事業展開を進めるため現地法人を設立しました。また、生産体制の効率化を目的として子会社の併合を行うなど、より一層の体制の強化を図ってまいりました。

このほか、企業市民としてコンプライアンス体制の一層の強化・拡充と最良の製品を通して広く社会に貢献すべく品質管理の徹底を推進してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高330億3千3百万円（前年同四半期比70.7%増）、営業利益102億8千5百万円（前年同四半期比648.7%増）、経常利益102億8千4百万円（前年同四半期比612.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益65億6千万円（前年同四半期比559.3%増）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

(炭素製品関連)

電極部門は、売価是正が進み、事業環境は好調に推移しております。

化学構造用不浸透黒鉛レスボンにつきましては、堅調さを維持しております。

ファインカーボン部門は、半導体市場の活況が続いており、炭素繊維および特殊炭素材料の販売は良好な動きとなっております。リチウムイオン電池負極材の販売も堅調に推移しております。

この結果、売上高は305億2千8百万円（前年同四半期比77.7%増）、セグメント利益（営業利益）は97億8千万円（前年同四半期比807.4%増）となりました。

(炭化けい素製品関連)

炭化けい素繊維の製造・販売は良好に推移し、売上高は16億5千9百万円（前年同四半期比63.9%増）、セグメント利益（営業利益）は2億6千5百万円（前年同四半期は1千5百万円のセグメント損失）となりました。

(その他)

産業用機械の製造・販売及び不動産の賃貸は手堅い動きとなり、売上高は8億4千5百万円（前年同四半期比26.7%減）、セグメント利益（営業利益）は2億2千7百万円（同5.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、676億6千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ100億7百万円の増加となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金48億7千4百万円の増加、現金及び預金35億8千6百万円の増加並びにたな卸資産21億4千9百万円の増加等により、442億1千7百万円と前連結会計年度末に比べ103億7千6百万円の増加となりました。固定資産は、有形固定資産では電極設備を中心とした設備更新はありましたが、投資有価証券の時価下落により、234億4千7百万円と前連結会計年度末に比べ3億6千8百万円の減少となりました。

負債は、284億7千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ47億2千9百万円の増加となりました。流動負債は、未払法人税等23億9千3百万円の増加、支払手形及び買掛金21億5千1百万円の増加等により、206億1千3百万円と前連結会計年度末に比べ54億4千万円の増加となりました。固定負債は、長期借入金5億6千万円の減少及び退職給付に係る負債1億7千2百万円の減少等により、78億6千6百万円と前連結会計年度末に比べ7億1千万円の減少となりました。

純資産は、配当金の支払11億8百万円がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益65億6千万円等により、前連結会計年度末に比べ52億7千8百万円増加し391億8千4百万円となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,586	15,173
受取手形及び売掛金	10,262	15,136
商品及び製品	5,508	6,616
仕掛品	3,804	4,078
原材料及び貯蔵品	1,569	2,336
繰延税金資産	642	498
その他	492	400
貸倒引当金	△25	△23
流動資産合計	33,840	44,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,572	15,746
減価償却累計額及び減損損失累計額	△9,306	△9,546
建物及び構築物 (純額)	6,265	6,199
機械及び装置	41,673	42,009
減価償却累計額及び減損損失累計額	△36,576	△36,989
機械及び装置 (純額)	5,097	5,020
車両運搬具及び工具器具備品	2,917	3,082
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,625	△2,709
車両運搬具及び工具器具備品 (純額)	291	372
土地	3,522	3,520
建設仮勘定	113	308
有形固定資産合計	15,290	15,421
無形固定資産		
投資その他の資産	198	214
投資有価証券	6,695	6,159
繰延税金資産	146	124
その他	1,500	1,535
貸倒引当金	△16	△9
投資その他の資産合計	8,326	7,810
固定資産合計	23,815	23,447
資産合計	57,656	67,664

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,349	6,500
短期借入金	8,417	8,465
未払法人税等	358	2,751
賞与引当金	135	330
役員賞与引当金	69	78
その他	1,843	2,486
流動負債合計	15,173	20,613
固定負債		
長期借入金	5,977	5,417
繰延税金負債	853	951
退職給付に係る負債	1,059	887
役員退職慰労引当金	74	37
役員株式給付引当金	23	42
環境対策引当金	65	63
資産除去債務	73	73
その他	450	393
固定負債合計	8,576	7,866
負債合計	23,750	28,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,402	7,402
資本剰余金	7,800	7,800
利益剰余金	12,638	17,911
自己株式	△1,967	△1,969
株主資本合計	25,874	31,146
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,424	2,093
為替換算調整勘定	4	63
繰延ヘッジ損益	—	△2
退職給付に係る調整累計額	△106	△84
その他の包括利益累計額合計	2,322	2,070
非支配株主持分	5,709	5,968
純資産合計	33,906	39,184
負債純資産合計	57,656	67,664

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	19,351	33,033
売上原価	15,256	18,992
売上総利益	4,094	14,041
販売費及び一般管理費	2,720	3,755
営業利益	1,373	10,285
営業外収益		
受取配当金	73	68
持分法による投資利益	—	17
為替差益	82	56
保険差益	6	0
その他	112	121
営業外収益合計	275	264
営業外費用		
支払利息	67	66
持分法による投資損失	98	—
固定資産除却損	12	114
その他	26	84
営業外費用合計	204	265
経常利益	1,444	10,284
特別損失		
火災損失	—	275
特別損失合計	—	275
税金等調整前四半期純利益	1,444	10,008
法人税、住民税及び事業税	219	2,755
法人税等調整額	△36	402
法人税等合計	183	3,157
四半期純利益	1,260	6,851
非支配株主に帰属する四半期純利益	265	290
親会社株主に帰属する四半期純利益	995	6,560

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,260	6,851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△336
為替換算調整勘定	△33	96
繰延ヘッジ損益	—	△2
退職給付に係る調整額	△0	21
その他の包括利益合計	△40	△220
四半期包括利益	1,220	6,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	965	6,305
非支配株主に係る四半期包括利益	255	325

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当連結会計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間より、ドイツに連結子会社Nippon Carbon Europe GmbH、米国に連結子会社NIPPON CARBON OF AMERICA, LLCを設立したため、連結の範囲に含めております。

また、平成30年7月1日付で連結子会社東北テクノカーボン株式会社を存続会社として、連結子会社京阪炭素工業株式会社及び連結子会社九州炭素工業株式会社を吸収合併し、株式会社NTCMに商号変更のうえ、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,184	1,012	1,154	19,351	—	19,351
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	—	315	317	△317	—
計	17,185	1,012	1,470	19,668	△317	19,351
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,077	△15	216	1,279	94	1,373

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	30,528	1,659	845	33,033	—	33,033
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	—	472	475	△475	—
計	30,532	1,659	1,318	33,509	△475	33,033
セグメント利益	9,780	265	227	10,273	12	10,285

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。